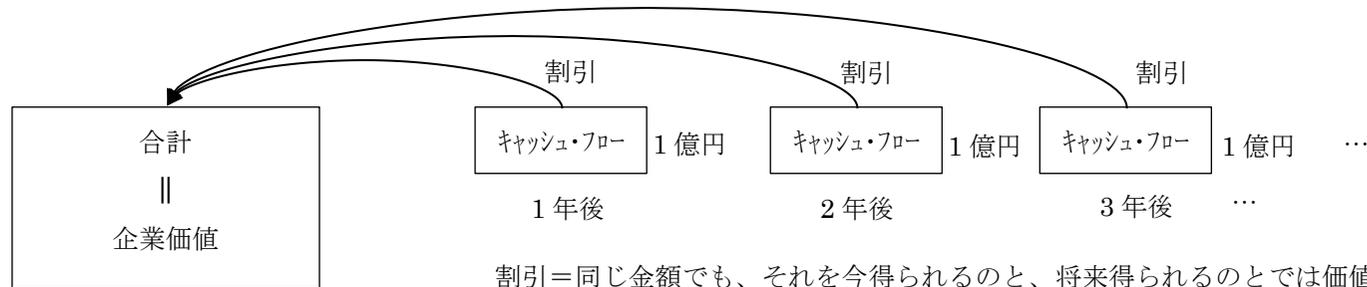


ディスカウント・キャッシュ・フロー法（DCF法）[テキスト3章1節8(2)]



割引=同じ金額でも、それを今得られるのと、将来得られるのとでは価値が違う（将来得られる金額は、今の価値になおせばもっと低くなる）ことから、将来のキャッシュ・フローの金額を減価すること。一定の割引率で割り引いて計算する

割引率が3%であれば、以下のように計算：

- 1年後に得られる1億円の現在の価値は $1億円 \div 1.03 \approx 9708$ 万円
- 2年後に得られる1億円の現在の価値は $1億円 \div (1.03)^2 \approx 9425$ 万円
- 3年後に得られる1億円の現在の価値は $1億円 \div (1.03)^3 \approx 9151$ 万円 …

[*] 以上の話が分かりにくい者は、次の例を考えよ

仮に、1億円を銀行に預ければ、1年後には必ず3%の利息が付くとする

①今1億円を得られれば、銀行に預けるだけで1年後には $1億円 \times 1.03 = 1億300$ 万円

②今9708万円を得られれば、銀行に預けるだけで1年後には $9708万円 \times 1.03 \approx 1億円$

→1年後に得られる1億円の現在の価値は、②を逆に計算して $1億円 \div 1.03 \approx 9708$ 万円

企業価値 - 負債 = 株主価値（企業価値のうち株主に帰属する部分）

株主価値 ÷ 発行済株式総数 = 株式価値（1株あたりの価値）